

# ふるさとの風景を物語る ワークショップの学びに関する研究

田中 尚人<sup>1</sup>・竹長 健斗<sup>2</sup>

<sup>1</sup>熊本大学 政策創造研究教育センター 准教授

<sup>2</sup>熊本大学 工学部社会環境工学科 4年生

三角西港は熊本県宇城市三角町に位置し、『明治の三大築港』の一つに数えられる土木遺産であり、平成27年7月『明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業』の資産として、ユネスコの世界文化遺産に登録された。本年度、筆者らは昨年度に引き続き、三角西港の風景を題材とする、宇城市立三角小学校の6年生を対象とした地域学習のWSを実施した。本研究では、文化的景観保全に対する理解を基盤としたワークショップを通じて、児童たちが獲得した学びについて定性的に分析することを目的とする。具体的に各ワークショップでは、①三角西港の特異点を見つける、②三角西港の物語を紡ぐ、③三角西港の価値を語る、の3つの視点に着目して、小学生の学びを分析した。

## 1. 研究の背景と目的

### (1) 三角西港の概要と研究の背景

三角西港は、熊本県宇城市三角町に位置し、お雇い外国人技師者ムルデルの設計・指導により、1887（明治20）年8月に開港した『明治の三大築港』の一つに数えられる土木遺産である。石造護岸が有名な三角西港は、築港前は三角本町を中心としたひなびた漁村であったが、築港とともに都市計画された港湾都市となり、その後保養都市となった。現在は、一区／二区からなり、両区合わせて約150世帯、約320人の人口（高齢化率42.6%）である。



写真-1 三角西港石積護岸（2016.6.7）

平成27年7月5日、ドイツのボンで開催された第39回ユネスコ世界遺産委員会において、熊本市宇城市三角町に立地する三角西港が「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」の資産の一部として、ユネスコの世界文化遺産に登録されることが勧告された。「明治日本の産業革命遺産」は、19世紀後半より20世紀初頭にかけて、幕末から明治期の日本における重工業分野（製鉄、造船、石炭産業）の急速な産業化の道程を、時間軸に沿って証言する一連の産業遺産（現役産業施設を含む）により構成されている。現在、世界遺産を含む文化財保全の分野では、「有形、無形の文化財と地域の暮らしの共生」<sup>1)</sup> が重要な懸案となっている。

筆者らは、平成25年度より、この三角西港を核とする港町、三角浦などを含む「三角の瀬戸」の文化的景観保全に関わっており、これまで宇城市や熊本県と協働し、地域住民とまちづくりワークショップ（以下、WSと略）を実践してきた。本年度は、平成27年度に引き続き、三角西港を「ふるさと」として、将来のまちづくりの担い手となる宇城市立三角小学校の6年生を対象に「私たちのふるさと、三角西港を未来に伝える」WSを計3回実施した。このWSは、宇城市教育部世界遺産推進室、株式会社エスティ環境設計研究所と共同で実施してきた。

## (2) 研究の目的と手法

本研究では、三角西港における文化的景観保全に対する理解を基盤とした地域学習のワークショップを通じて、三角小学校の児童たちが獲得した学びについて定性的に分析することを目的とする。

本研究の理解のために、重要となる二つの概念を紹介する。

シビックプライドとは、「市民が地域社会や環境に対して持つ自負や愛着、そしてそれらをより佳くする能動的な参加の精神」<sup>2) 3)</sup> と定義され、ふるさとにおける生活文化理解、よりよき市民としての能動的活動を支えるものであると考える。

文化的景観とは、「地域における人々の生活又は生業及び当該地域の風土により形成された景観地で我が国民の生活又は生業の理解のため欠くことのできないもの（文化財保護法第二条第1項第五号）」と定義され、その要件としては、①歴史、②自然環境、③生活・生業、が挙げられる。これらの要件の固有性を、総体と成立させている、地域アイデンティティの拠り所となる風景生成メカニズムを文化財とするものである。筆者らは、文化的景観保全を持続可能な地域づくりであると認識し、研究及び実践を行ってきた。

具体的には、ワークショップは、以下の3回開催した。

第1回：2016年9月21日（水）午前3コマ

テーマ「三角西港らしい風景探し」 内容：三角西港におけるまち歩き

第2回：2016年10月19日（水）午前2コマ

テーマ「三角西港の物語りづくり」 内容：三角西港のガイドブックづくり

第3回：2017年1月20日（金）午後2コマ

テーマ「三角西港をガイドしてみよう」

内容：三角西港のボランティアガイド体験

## 2. 第1回ワークショップの運営と学び

### (1) WSの概要

第1回のWSは、「三角西港らしい風景探し」と題し、8班に分け、班ごとに、三角西港の主要観光ルートを60分程度歩き、「三角西港らしい」風景を探してデジカメラに納め、ふりかえりの時間で、個人で「三角西港らしい」風景を選び、班ごとに「三角西港らしさ」とは何か、キャッチフレーズを考えてもらった。

8:30 スタッフ三角西港集合、浦島屋2階設営

8:45 三角小6年生、引率教員、バスにて三角小を出発（所要15分）

9:00 三角小6年生、浦島屋到着

まち歩き講話（15分）@浦島屋2階 講師：田中尚人（熊本大学）

特異点の説明．写真の撮り方の説明．

9:15 三角西港らしい風景探し（60分）

- ・班編成は、小学校にお願い、各班にサポート
- ・班ごとに三角西港好きな風景探し；各班に赤いデジタルカメラ
- ・チェックポイント①～⑦をプロットした簡易まち歩きマップ（図-1）に沿って、班ごとに行動



図-1 三角西港の簡易まち歩きマップ

## (2) まち歩きの詳細

- ・リーダーは、カメラを管理し、誰かが特異点らしきものを見つけたら、班員にカメラを渡し、撮影させる。※誰が、どこで写真を撮ったのか、記録しておく。
- ・班員それぞれが、三角西港の特異点（もっとも三角西港らしい）と思うポイントを探す。①～⑦のチェックポイントを含んでも構わないが、班の中では重複のないようにしたい。
- ・①～⑦をチェックポイントでは、必ず班員の誰かが写真を撮る。
- ・チェックポイント以外でも、誰かが特異点の可能性を示したら、撮影させる。
- ・60分という時間制約を考えながら、できるだけ、班員の希望に沿う。
- ・出発前に、それぞれの狙いや、班で作戦を立てるのもよいだろう。

### 【振り返り】

- ・班ごとに、デジカメで撮った写真を参考に、車座になって話し合う。
- ・浦島屋2階にはPCを設置し、一部プロジェクターにも繋げて、議論しやすくする。
- ・各班員の特異点を示しながら、重複のないように、班として班員の数だけの写真を選定する。
- ・6枚もしくは5枚の三角西港らしい写真が選定できたら、その写真セットのストーリーを考え 写真集>ガイドブックのタイトル、を付ける。

## 3. 第2回ワークショップの運営と学び

### (1) WSの概要

第2回のWSは、「三角西港のガイドブックづくり」と題し、第2回で班ごとに、三角西港の主要観光ルートを歩いて探した「三角西港らしい」風景を、各自がポスター（A3）にして、5枚（4枚）を並べて、物語のあるガイドブック（紙芝居風）を、班で一つ作る。

各班の「三角西港らしさ」

- 1班：昔の風景などが味わえる所
- 2班：自然や古いものが残る場所
- 3班：自然や古いもの新しいものがたくさん集まっている三角西港
- 4班：自然ややさしさがあじわえる所
- 5班：明治時代にタイムスリップした気分になれる場所
- 6班：自然と海と歴史いっぱい西港
- 7班：明治をたんのうできる三角西港
- 8班：山から海まで水がつながっているところ

9:30 スタッフ三角小学校集合

10:05～10:50 ガイドブックづくり（写真-2）

- ①田中が概要説明 PPT使用
- ②各班で考えた「三角西港らしさ」を振り返り

- ③各自が描いた場所を，A3のマップにプロットし，どういうコースがいいか考え，マップにコースを記入する．
- ④そのコースを歩くと，どんな「三角西港らしさ」が味わえるのか，物語をつくってみる．お話でもいいし，みんなが歩いた時の感想でもいい，とにかくスタートして，ゴールするまで，歩きながら考えたことを，作文してみる．
- ⑤各自が選んだ風景に「キャッチフレーズ」を考え，ポスターに書き入れ，ポスターを完成させる．

10:50～11:00；休憩

11:00～11:45 ガイドブックの発表（写真-3）

- ①発表練習 5分
- ②一人ずつ順番に自分のポスターまでの物語を発表する．  
各班 3分×8 計 約30分
- ③振り返り 10分



写真-2 ガイドブック作成時の風景



写真-3 ガイドブックの発表時の風景

#### 4. 第3回ワークショップの運営と学び

##### (1) WSの概要

第3回のWSは，「三角西港をガイドしてみよう」と題し，各班で作成したガイドブックを携えて，観光客役のボランティアガイドの皆さん，保護者たち大人に対して，三角西港のボランティアガイド体験を行った．

10:00 スタッフ三角西港集合，浦島屋2階設営

10:30 三角小6年生，浦島屋到着

趣旨説明，諸注意（10分）@浦島屋2階 講師：田中尚人（熊本大学）

10:40 三角西港ボラにティアガイド体験（60分）

- ・集合写真撮影
- ・班ごとに，観光客役の大人と一緒に，三角西港をガイドしながら歩く
- ・浦島屋に戻ってきた順番に，児童は3回のWS（授業）を通じた「振り返りアンケート」を，保護者ら大人も「感想アンケート」を記入

## (2) 振り返りアンケートの分析

本年度は、第1回～第3回まで3回のWS（地域学習）全体を通して、振り返りを行うアンケートを実施した。

表-1 振り返りアンケートのまとめ

| 班                                 | No. | Q1 一番楽しかったこと               |        | Q2 一番難しかったこと                         |            | Q3                                     | Q4                                 |       |
|-----------------------------------|-----|----------------------------|--------|--------------------------------------|------------|--|------------------------------------|-------|
|                                   |     | (1)                        | (2) 理由 | (1)                                  | (2) 理由     |  |                                    |       |
| 1班<br>昔の風景などが味わえる所                | 1   | 西港のいいところを見つけた時(1回目)        | 1      | 三角出身者と同じ西港のことを知れたから                  | 4, 5       | 工夫してするから                               | 古くから残されている物が大切にされているところ            | 個人    |
|                                   | 2   | 三角西港のいい所をガイドできたこと          | 3      | 初めてガイドをやったから                         | 4          |  | 歴史や文化を学べた                          | みんな   |
|                                   | 3   | みんなと交流できたこと                | 3      | あんまりしたことがないから                        | 5          | おぼえるのがむずかったから                          | 自然た(さん)のこと                         | みんな   |
| 2班<br>自然や古いものが残る場所                | 4   | 一号線の下のところを見つけた             |        | 下のところはみたことがないから                      | 3, 5       | 見ないで話を聞いたかった                           | 排水路の長さやアコウの木が築の部分が地面に生えているのがわかったこと | 個人    |
|                                   | 5   | 三角西港の色々なところを知れたこと          |        | 知らなかったことを知れたし、自分たちが住んでいる場所、ガイドができたから | 4          | アコウのみさをかくのがむずかしかった                     | 色々な歴史や文化などがわかると思う                  | 4人みんな |
|                                   | 6   | 絵をかくこと                     | 2      | 絵をかくことで西港のよさがもっとわかるから                | 2, 5       | 西港のいいところがたくさんあったから                     | みんなが考えた西港のよさがつたわると思う               | みんな   |
| 3班<br>自然や古いもの新しいものがたくさん集まっている三角西港 | 7   | 実際に西港でガイドをしたこと             | 3      | 今まで、練習してきて、本番で上手にできたから               | 3, 4       | 3は皆の考えた意見をまとめるのが難しかった<br>4は絵をかくのが苦手だから | 今まで知らなかったことが分かったと思う                | 個人    |
|                                   | 8   | プロの人にガイドしたこと               | 3      | プロの人にアドバイスしてもらったから                   | 4          | お客様に気に入ってもらえるか分からなかったから                | 「自然や古いもの新しいもの」のこと                  | 班の全員  |
|                                   | 9   | 西港を見回ったこと                  | 1      | みんなで仲良く見回れたから                        | 5          |  | 西港の歴史について                          | 個人    |
| 4班<br>自然ややさしさがあじわえる所              | 10  | 西港を見て回ったこと                 | 1      | 架ったり話して色々な建物を見て回ったから                 | 5          |  | 色々な歴史                              | 個人    |
|                                   | 11  | おもしろいところを知れたこと             | 3      | おもしろいところを知れたから                       | 2, 4, 5    | わからない                                  | 三角西港の歴史                            | 個人    |
|                                   | 12  | 西港のことをもっと知れたこと             | 3      | 知らないことが予想しなかったから                     | ない         |  | 古いものが分かった                          | 個人    |
| 5班<br>明治時代にタイムスリップした気分になれる場所      | 13  | 三角ポランテアガイド                 | 3      | ガイドができたから                            | 4, 5       | 緊張して言葉がとどまらなかつたから                      | 歴史のこと                              | 個人    |
|                                   | 14  | ガイドをすること                   | 3      | みんなが西港のことを知ってもらえるから                  | 2          | みんなに三角西港らしさが伝わるように頑張ったから               | すばらしさ                              | 個人    |
|                                   | 15  | 三角西港のことが今まで以上に知れたこと        |        | いろんなほっけんがあったからです。                    | 4          | お客様にちゃんと分かったらいいから                      | すばらしさ                              | 個人    |
| 6班<br>自然と海と歴史いっぱい西港               | 16  | 三角西港ポランテアガイド               | 3      | 三角西港のことを知ってもらえたから                    | 2          | 「三角西港らしさ」が分からなかつたから                    | み力的な部分                             | 個人    |
|                                   | 17  | ガイドをしたこと                   | 3      | 初めてだったから                             | 2, 4, 5    | あまりしなかつたから                             | 自然豊かなこと                            | 個人    |
|                                   | 18  | ガイドをしたこと                   | 3      | 初体験だったから                             | 3, 4       | 案が、多かつたから                              | 自然豊かな所                             | 個人    |
| 7班<br>明治をたんのうでできる三角西港             | 19  | 三角西港をガイドしたこと               | 3      | いっしょに歩いた人から、いろんな話を聞けたから              | 3, 4       | いろんな案が出てまよつたから                         | 自然の良さが分かる                          | 全員    |
|                                   | 20  | 家さいにガイドをしてお客さんと楽しく会話をできたこと | 3      | きんちゅうたけれど上手にできて、うれしかったから             | 5          |  | 植物以外の人の優しさ、自然の美しさが実感できると思っています。    | 全員    |
|                                   | 21  | みんなとガイドの練習をしているとき          | 3      | みんなと協力してできたから                        | 5          | 分かりやすいように伝えようとしたから                     | 自然豊かなこと                            | 個人    |
| 8班<br>山から海まで水がながっているところ           | 22  | 裁判官になりきったこと                | 3      | みんなでしたから                             | 2, 3, 4, 5 | どうすればよく見てくれるのか考えたから                    | 自然が豊かなこと                           | みんな   |
|                                   | 23  | 三角西港を楽しみガイドしたこと            | 3      | 自分も楽しみつつ、三角西港を楽しんだから                 | 4          | わかりやすく、伝えたいいけないから                      | 歴史だけでなく自然豊かなこと                     | 全員    |
|                                   | 24  | さいぼんしよでさいぼんをしていた           | 3      | みんなをやったから                            | 6          | 横断裁判                                   | 昔のことおぼわかつた                         | ぜんいん  |
| 9班<br>山から海まで水がながっているところ           | 25  | 裁判官になって裁判したこと              | 3      | ともや君がすごかつたから                         | 4          | 右がきの色などをだすのが難しかった                      | 西港にいろんな自然がある                       | 個人    |
|                                   | 26  | (アコウの木)知らなかつたことが分かつたこと     |        | (アコウの木)知らなかつたことが分かつたこと               | 5          | お客様のベースに合わせなければならなかつたから                | 三角西港のみか                            | 個人    |
|                                   | 27  | れきしがわかつたこと(アコウの木)          |        | はじめてだったから                            | 5          |  | 三角西港                               | 個人    |
| 10班<br>山から海まで水がながっているところ          | 28  | 皆で協力しながら説明できたこと            | 3      | 一人が説明している時にもサポートしてくれたこと              | 4          | 写真を見ながら下絵をかくこと                         | 三角西港の文化、自然                         | 個人    |
|                                   | 29  | 班全員で紹介する場所を決めたこと           | 3      | 三角西港の良さをたくさん見つけることが出来たから             | 3, 4, 5    | 三角西港の良さを誰でも分かるように伝えるから                 | 自然や歴史                              | 個人    |
|                                   | 30  | 三角西港らしいところの写真をとった          | 1      | みんなて話しながら写真をとったから                    | 3          | 話し合いがいがでたから                            | 自然がいっぱいで古いものは残っている                 | 自分    |
| 11班<br>山から海まで水がながっているところ          | 31  | 絵をかいたこと                    | 2      | 絵が好きだから                              | 3          | 西港のことをあまり知らなかつたから                      | いろいろな場所やしくみ                        | みんな   |
|                                   | 32  | ガイド                        | 3      | お客様が笑ってくれたから                         | 2          | 写真を選ぶのにまよつたから                          | 自然と風景                              | 個人    |
|                                   | 33  | いろんなところを回ったこと              | 1      | しゃべりたいから                             | 4          | 絵をかくのがきらいだったから                         | 今も昔の西港が残っていること                     | 個人    |

### 1) 一番楽しかったこと：

実際に三角西港をガイドした体験（第3回）を記述する児童が多かった。

1回目：5名、2回目：2名、3回目：19名、回を通して：7名（全33名中）

### 2) 一番難しかったこと：

③ 班で「三角西港らしさ＝テーマ」を考えたこと

④ 紙芝居の絵を描くこと

⑤ 三角西港をガイドすること

が、ほぼ均等に回答された。④絵を描く、は様々な要素が含まれているようなので、さらに詳しい分析が必要である。

### 3) 三角のどんなことが分かる？：

必ずしも班で掲げたテーマと関連している訳ではないが、各班で共通体験として得たものを回答している、と考えられる。

オレンジ色：歴史・文化 緑色：自然 紫色：両方

### 4) 誰の絵が最もテーマに当てはまっていたか？：

個人名を挙げる児童と、「全員」と回答する児童が、大凡半数いた。特異点探索の

結果，一人の絵が特異点になっていることが望ましいと考えていたが，再考する必要がある．

今回は，単純集計のみであるが，さらにクロス分析等を行い，各班でのボランティアガイド体験について，考察する必要がある．

## 5. ワークショップの学びに関する考察

本年度は，三角西港における文化的景観保全に対する理解を基盤とした地域学習のワークショップを通じて，三角小学校の児童たちが獲得した学びについて定性的に分析した．

分析には，エピソード記述の手法を用いたが，児童の振り返りについて，メタ分析できているのかは，実証できなかった．各班に同行したリーダーの振り返りも合わせて，検証してみる必要がある，と考える．

謝辞：

本研究には，様々な方々にご協力頂きました．三角小学校校長先生をはじめ教諭の先生方，三角西港の地域住民の皆様，特にともにワークショップに参加した，宇城市教育部世界遺産推進室の藤川氏，神川氏，（株）エスティ環境設計の赤星氏，豊崎氏，そしてともに運営に携わった熊本大学工学部社会環境工学科地域風土計画研究室の学生諸君には，たいへんお世話になりました．記して感謝の意を表します．

参考文献

- 1) 松浦晃一郎，世界遺産 ユネスコ事務局長は訴える，講談社，2008.6.
- 2) 都市生活研究局（著）・伊藤香織・紫牟田伸子（監修），シビックプライド—都市のコミュニケーションをデザインする，読売広告社，2008.11.
- 3) 伊藤香織+紫牟田伸子（監修）・シビックプライド研究会（編著），シビックプライド2【国内編】—都市と市民のかかわりをデザインする，読売広告社，2015.9.
- 4) 「まち歩き」をしかける コミュニティ・ツーリズムの手ほどき，茶谷幸治，学芸出版社，2012.8.
- 5) フットパスによるまちづくり 地域の小径を楽しみながら歩く，神谷由紀子編著，水曜社，2014.5
- 6) 山内祐平・森玲奈・安斎勇樹，ワークショップデザイン論，慶応義塾大学出版会，2013.6.
- 7) 鯨岡峻，エピソード記述入門，東京大学出版会，2005.8.

# Research on the study of workshop for preservation of the value of cultural landscape in Misumi-Nishi port

Naoto TANAKA and Kento TAKENAGA

The Misumi-nishi port is located in Misumi town, Uki city, Kumamoto prefecture. This old stone port is one of “Meiji three important port” and was selected as the UNESCO’s world heritage “Sites of Japan’s Meiji Industrial Revolution: Iron and Steel, Shipbuilding and Coal Mining”. In this year, the authors carried out workshops for the preservation of cultural landscape and community development in the Misumi-nishi port as the regional study with students who are sixth grader of Misumi Elementary School, three times. In this study, it is aimed to analyze qualitatively about the indigenous knowledge and experiences that children acquired through the workshop which assumed understanding for the cultural landscape preservation. Actually, each workshop have a theme such as, i) Discover the singular point of the Misumi-nishi port, ii) Making the story of town walk (Machi-aruki) in the Misumi-nishi port and iii) Talking the value of the Misumi-nishi port.

(2017.2.21 受付)